



# あかし



～絆を深めて～

## 食育って何？

「食育」の目的は、

**食に関する知識を教え育むことで、適切に食を選択し、健全で健康な食生活を送ることができる人間を育てること**

です。この目的を達成するために、まずは食について「正しい知識」を得ましょう。土曜日の授業では、「食育って何？」「食の自立」「食から見える世界」について学習をしました。



第一時では、食育の目的や6つの食品群についての説明を聞き、現代の食の問題について考えました。

第二時では、自分たちが食を選ぶ際の視点について考え、朝ごはんと夜ごはんをしっかりと食べているか。また、誰と食べているかなど自分たちの食生活の振り返りを行いました。

第三時では、日本の食料自給率の低さと食料輸入についての社会問題から食について考えました。

この三時間を経て、自分たちの食についての意識を見直す貴重な時間になったと思います。食育については、始まったばかりです。この時間で学ぶことは、間違いなく将来の食生活に関わっています。自分たちができることをしっかり考え、たくさんのことを吸収して将来に役立ててください。



## ～作文紹介(3組)～

進級した際に書いた作文を紹介します。紙面の関係で全員載せることができず残念です。ホームページに載せる際は名前を削除します。予めご理解ください。

「二年生になるに向けて」

僕は、今年から2年生になる。それを踏まえて気をつけようと思うことがある。

第一に、初心に戻ることだ。一年生として入学したときには、自分の中に緊張感があった。そのため最初の頃に受けた授業や先輩の言葉はよく覚えている。しかし、新しい友人や学校生活への慣れができると、緊張感がなくなり、気がゆるみやすくなった。そのため学校生活や部活動でもふざけていることが増えてしまった。二年生でのこうした中だるみは、今までのがんばりをダメにしてしまう。したがって二年生では、初心を大切に学校生活や勉強をしていこうと思う。

第二に、後輩への接し方だ。いくら一年生のような心でがんばろうとも、二年生は二年生である。一年生から見れば、先輩の立場になるのだから、ふるまい方は大切である。後輩に厳しすぎるのも良くない。一方で優しすぎても先輩としての立場があやうい。一番は自然にふるまうことだと思う。共に意見が言える関係が望ましいだろう。また、先輩になるにあたり責任感も重要である。自分の発言や意見で一年生が行動する場面が今後考えられる。そうした場合にふざけているなどもってのほかだ。先輩としての責任を大切にしたい。

このように、二年生になり新しくすることも増えるだろう。そうしたときには今までことなどに気を付け、二年生の生活を楽しもうと思う。

「二年生の目標と実感」

春休みのときは、進級するにあたり心配なことが多かったです。始業式のときにクラス分けの紙をもらうときも、不安と緊張が大きかったです。新しい教室へ行くと二年生になった実感が湧きました。一年生の時は、同じ友達と一緒にいることが多かったので、今年は色々な人と友達になりたいです。

今年の目標は三つあります。

一つ目は、やるべき事を後回しにしないことです。私は、学校の準備や、部屋の片づけを、次の日に延ばしてしまうので、帰ったらすぐにリュックを置かないで、準備ができるようにしたいです。

二つ目は、積極的に発言できるようにすることです。小学校の頃からずっと授業中に手を挙げるのができずにいるので、一週間や二週間に一回はできるようにがんばりたいです。授業中以外でも、友達がいけないことをしていても、声をかけられなかったので、しっかり自分の意見を言えるようにしたいです。

三つ目は、後輩に教えてあげられるようになることです。部活で後輩が入ってきたら、わかりやすく教えてあげたり、声をかけたり、先輩たちにしてもらったようにできると良いなと思います。

二年生では、一年生のときにできなかったことや、何事も積極的に取り組むことをがんばりたいです。